

福岡県立小倉南高等学校

スクール・ミッション (南高が目指す学校像)



鍛え、褒め、生徒の可能性を最大限に伸ばし、「自走力」を育成する学校。

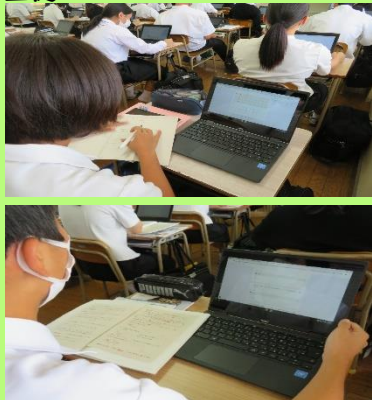
令和4年度の教育重点目標

教科指導 学校の新しい生活様式を踏まえたうえで**ICTも活用しながら**、様々な体験活動や他者と協働した探究的な学びの機会を設定し「思考力・判断力・表現力」を高める。

令和4年度 ICT活用の実践例 (一人1台端末の活用)

化学基礎
物理基礎

・Formsを利用した確認テストを解く生徒



・解説を聞く生徒



実践者のことば
・採点に時間がかからず時間の確保ができる。
・正答率在那个場で分かり、状況に応じた指導ができる
・生徒が正解するまで繰り返し解くことができる

古典B

・個人の考えをGoogle Jamboardを用いて班でまとめる生徒



・作成したスライドを用いて全体に共有している生徒



実践者のことば
・意見の集約がしやすい
・全体で共有しやすい

現代文B

・課題に対して考えを深める生徒



・考えた内容をグループで協議し、Formsに入力する生徒



実践者のことば
・匿名で表示できるため、発表が苦手な生徒の意見も拾いやすい

生物

・Google classroomを利用して光合成の反応経路のパーツを組み立てている生徒



・個人で考えた内容をペアワークで深める生徒



実践者のことば
・実際に作業をすることで順序を理解しやすい
・何度も操作を繰り返すことで理解が深まりやすい

成果・期待できること

- 発表が苦手な生徒も積極的に自分の意見を共有しようとする
- 間違っている問題に対して繰り返し解きながら、理解しようとする
- 与えられたものだけではなく+αのものを自ら工夫し学習活動を行おうとする

課題

- 各教科において活用方法が確立しておらず実践している教員が少ない